

活動報告 No.7

3月11日の東日本大震災は、

日本人の記憶から、永久に消えない日となりましたが、

今、多くの人が復興に向けて立ち上がり、

また、それを支援する民間人も増えてきました。

実は、わたくし森本はNPO法人東京災害ボランティア「グリーン・グリーン」
という団体の理事をやっていて、

メンバーの多くが仕事の合間に休みをとりながら、
岩手県、宮城県、福島県などでボランティア活動に汗を流しています。

しかし、その中でも、福島県は大事故を起こした福島第一原発があり、
放射能汚染の心配から、ボランティアの足も遠のきがちです。

そこで、グリーン・グリーンでは、地元の要請を受け、
復興支援ミッションを福島県いわき市に派遣することになり、
私も参加する運びとなりました。

9月6日、火曜日の夜に、東京まで行ってメンバーと合流し、
交代で車を運転しながら、常磐道を北上していわき市へ。

いわき市では、先方の事務所の床で雑魚寝し、
お風呂は銭湯で済ませながらの、3日間の活動でした。



復興支援の現場で、グリーン・グリーンのポロシャツを着たメンバー。



いわき市四倉の災害ゴミ処理場、すでに1か所目は満杯で、この処理場は2か所目です。



ゴミを片づける私。



四倉の道の駅、被災していますが、仮営業中ですので、
いわき市に行かれた際は、是非よってください。



いわき市の復興を願う、私たちです。



いわき市で利用した、駅前の公衆浴場「みゆきの湯」
温泉なのに、220 円。疲れがとれました...

家族を、財産を、街を奪った、東日本大震災...

でも、

日本は負けない！

だって、台湾始め、世界中の国々が応援してくれてるんです。

がんばろう、日本！

福島第一原発の大惨事で福島県は大変なことになっています。
瓦礫の撤去なんて、放射能汚染が怖いかも知れません。

でも、誰がやらなければならないのです。

そして、まだ大勢の住民が、子どもたちがいわき市で暮らしているのです。

政府がやらないなら、グリーン・グリーンは立ち上がります。

理事長の木下史典は、岩手、宮城、福島の被災地を、
仲間とともに、今日も駆け回り、汗を流しています。

被災地のために、私たちのできること。

それは、どんなことでも、行動を起こすこと。